

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」春日部校		
○保護者評価実施期間	2024年11月1日		～ 2024年12月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	64	(回答者数) 51
○従業者評価実施期間	2024年11月1日		～ 2024年12月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 11日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さまの特性等に応じた専門的な支援の実施	一人一人の支援内容について職員全体で丁寧に検討を行っています。また、指導員の経験や得意なことを活かした支援を提供するように心掛けています。	支援の振り返りや日々のアセスメントを通して、より良い支援を提供するための具体的な話し合いを行っています。
2	保護者様との情報共有を丁寧に行っていること	お子さまの様子や支援内容について保護者様に丁寧な説明を心掛けています。また、ご要望に対しては可能な限り迅速に対応できるように職員間の情報共有を密に行っています。	引き続きコミュニケーションを多く取り、ご本人・保護者様が抱える課題やお悩みに寄り添った対応を心掛けていきます。
3	多くのお子様楽しく通所していただいていること	明るく気持ちの良い挨拶をすることや、支援以外でも楽しい関わりをもつことを職員全体で意識しています。	安心して通所していただけるように教室環境の更なる改善や、支援内容・支援プログラムの見直しを行っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	計画的なイベントなどの実施	日々の支援が優先されるため、中・長期的な事業所運営の計画の着手が遅れていること。	事業所内ミーティングで事業所の全体計画を作成し、計画に沿って進めていけるようにします。
2	完全なバリアフリー化ができていない	建物の構造上の問題で対応が難しいところ	段差に対しては職員が近くで見守れるようにしていきます。日常の中で少しでも危険だと感じたことは迅速に検討し、より良い環境を整えられるようにしていきます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」春日部校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 64

回収数 51

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	47	4	0	0	以前より活動スペースが開放的になり、活動しやすくなったように思います。	引き続き安全で過ごしやすい活動スペースを確保してまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	49	2	0	0		常に基準人員以上の体制を整えています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	32	15	0	4		入口に5cm程度の段差があるので、危険の無いよう見守る等配慮しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	46	5	0	0		毎日清掃を行い、清潔で心地よく過ごせるように配慮しています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	51	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	48	3	0	0		支援プログラム公表の義務化に伴い、今後公表する予定です。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	49	2	0	0		アセスメントとニーズの聞き取りを丁寧に行い、個別支援計画を作成するよう心掛けていきます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	43	5	0	3		児童発達支援計画はガイドラインに沿って必要な項目を選択した上でお子様に合わせて作成し、保護者様に丁寧に説明をしています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	47	0	0	4		事業所内ミーティング等で計画に沿った支援を行うよう確認していきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	42	7	0	2		お子さまの様子や状態に合わせて、活動プログラムの見直しや変更を実施していきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	9	30	6	個別メインなのであまりあってもどうかと思います。	ご要望がありましたら検討していきます。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	47	2	0	2	手帳の更新の時のにもいつも説明していただいています。	引き続き丁寧かつ分かりやすい対応を心掛けてまいります。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	49	2	0	0		放課後等デイサービス計画をご確認いただく際は必ず計画を示しながらご説明していきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22	15	6	8		ご要望に応じてご提供できる情報があればお伝えしていきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	47	4	0	0	娘の小さな変化や体調を気にかけて下さり安心して通うことができています。	支援ごとにお子様の健康状態や情緒面等の把握を行い、保護者様と情報共有しております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	37	7	3	4		フィードバックや相談援助を通してお困りごと等に迅速に対応できるように心がけます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	47	4	0	0		支援の振り返りを常に行い、お子様や保護者様の気持ちに沿った支援を行うように努めます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	16	13	8	定期的に行われるイベントは本人も毎回楽しみにしています。長期休みになると楽しいイベントを企画してくださりお姉ちゃんもいつも楽しく参加させてもらっています。	不定期実施のイベントにはきょうだいの一緒に楽しく参加できるように配慮していきます。

	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	40	5	0	6		相談や申し入れに対しては全職員で共有を行い、迅速かつ丁寧に対応するように心がけていきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	47	0	0	4		お子様や保護者様に合わせたコミュニケーション方法で必要な情報を提供できるよう配慮していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	37	5	4	5		ホームページのブログやInstagram等のSNSを定期的に活用するとともに、必要に応じてお知らせの配布等を行っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	48	0	0	3		個人情報は鍵付き書庫にて保管し、取り扱いには十分配慮しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	32	8	2	9		マニュアルは策定されていますが、保護者様に分かりやすい場所に設置する等工夫していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	16	5	17		毎月様々な災害を想定して必要な訓練を実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	36	6	0	9		お子さまが安心して通所できるように安全計画の周知と環境整備を続けていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	30	5	1	15		事故等が起きないような環境整備を進めていきます。万が一事故等が起きてしまった場合は速やかにご連絡・ご説明させていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	51	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	44	6	1	0		お子さまにとって楽しい事業所であるように支援内容や環境の整備を行っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	49	2	0	0		改善できるところは改善し、よりご満足いただけるよう取り組んでいきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」春日部校			公表日	2025年 2月 15日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		利用定員に対して余裕のあるスペースを確保して支援を行っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		常に基準以上となるように、適切に職員を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		支援スペースと事務スペースの区別を明確にし、視覚的に分かりやすいように表示しています。	入口に5cm程度の段差があるので、危険の無いよう見守る等配慮しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		毎日清掃を行い、清潔で心地よく過ごせるように配慮しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		個別の部屋はありませんが、状況に応じて個別スペースを使用できるように、パーティションを使用する等柔軟に対応しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		業績評価シートや事業所内ミーティングを実施することで個人、全体で業務改善に参画する機会を持っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		評価表のご意見や日々のフィードバックを事業所内で共有し、業務改善につなげられるようにしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎日実施している事業所内ミーティングで意見を出し合い業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	外部評価は実施していません。	必要な場合は検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		法人内、委託先による研修は計画的に実施されており、参加する機会が確保されています。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		<input type="radio"/>	プログラムは適切に作成していますが、外部への公表は出来ていません。	支援プログラム公表の義務化に伴い、今後公表する予定です。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		アセスメントとニーズの聞き取りを丁寧に行い、個別支援計画を作成しております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		モニタリング、支援計画会議を必ず実施し、全職員の共通理解を図っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		個人ファイル内に保管し、常に確認できるように配慮しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		日々の行動観察によるインフォーマルなアセスメントを中心に実施し、事業所内で共有・確認を行っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		行政指示に基づき、各項目のねらいや支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		モニタリングや事業所内ミーティングを通して職員全体で確認・共有しています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	お子さまの様子や状態に合わせて、活動プログラムの見直しや変更を実施しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	個別療育が中心のため、集団活動は不定期開催のイベントのみとなっています。	集団イベントを計画的に実施できるように進めています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	事業所内ミーティングにて常に確認し、チームで連携して支援を行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	支援の振り返りは必ず実施し、共有事項の確認を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	支援記録は漏れの無いように確認を行っています。記録に基づいて支援の検討や改善も行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	定期的にモニタリングを実施し、必要に応じて見直しや変更を行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○	本人・家族支援が中心となっており、地域とのつながりがもていません。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	支援を通して自己選択を行なう機会を設けることで、自己決定をする力を育てるための支援を行っています。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	実際に支援し、お子様の状況をよく理解している指導員が対応しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	協力医療機関を定めて重要事項説明書に明記しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	保護者様やインターネット等を通じて情報収集を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	就学前にご利用されていた事業所との連携はとっていません。	ご要望や必要があれば丁寧にに対応してまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	対象のご利用者様がおられません。	ご要望や必要があれば丁寧にに対応してまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	実施していません。	必要な場合は検討してまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	個別療育のため実施していません。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	主に管理者が積極的に参加しております。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	フィードバックや相談支援により日頃からお子様の発達状況や課題についてコミュニケーションを密にとっております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	ペアレントトレーニングの研修は実施していませんが、情報提供やフィードバックを通しての家族支援は実施しています。	ご要望があれば検討してまいります。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧に説明を行っているか。	○	必要なタイミングで丁寧に説明するよう心掛けております		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	お子様や保護者様からのご意向はご希望に応じてすぐに聞き取りを行い、ご対応しています。		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		児童発達管理責任者が必ず説明し、保護者様の同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談があった際は必ずお話を丁寧に伺い、必要と思われる助言や支援を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		父母の会の支援や保護者会の開催は行っておりませんが、不定期開催のイベント時に兄弟同士の交流ができるように配慮しています。	ご要望に応じて今後検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情窓口を設置し、重要事項説明書に明記しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページのブログやInstagram等のSNSを定期的に活用するとともに、必要に応じてお知らせの配布を行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報に関するものは全て鍵付き書庫にて保管し、事業所全体で取り扱いに留意しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子様や保護者様に応じて配慮が必要な場合は支援プログラムや関わり方を工夫しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		個別療育のため実施していません。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		それぞれ策定し、重要事項説明書によって周知しております。策定された計画に沿って訓練を実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		会社が策定したBCPに沿って定期的に研修や訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		事前の確認は行っていますが、対象のご利用者様はおりません。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		事前の確認は行っていますが、対象のご利用者様はおりません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定し、計画に基づく訓練を実施しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		避難経路や避難場所について周知を行っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットが起きたときは記録に残して事業所内で共有をし、再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		会社の研修及び委員会の活動などにより適切な対応をとれるようにしています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		重要事項説明書に明記すると共に、委員会の設置や研修を実施しています。		